

## 第4回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

■日 時 平成27年11月26日(水) 午前18時30分～20時30分

■会 場 庁議室

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

- ・委員数19名に対して14名が出席しており会議は成立。

2 市長挨拶

3 議事

(1) 石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略最終案について

<質疑>

【会長】

43～46ページは、総合戦略の前提となる部分であると思うので、今後改訂していく上で、見直しや追加をして、より充実させていってほしい。この総合戦略は未来の石巻市の姿とも読み取れるので、将来の石巻はこんな風になるのだとビジョンが見えるものだと良い。

【事務局】

改訂していく中で内容を盛り込んでいければと考えている。

【委員】

1ページの総人口の推移のグラフについて、総人口のピークは1985年で、1990年には減少傾向となっている。減少傾向に転じた理由は何か。

【コンサルタント】

石巻市の総人口のピークは1985年となっているが、全国的にはもう少し後にピークが生じている。減少に転じたのは、一般的な傾向として、バブル期頃に人口が大都市部に集中し、地方から移出したのがひとつの要因ではないかと考えられるが、詳細についてはもう少し分析が必要となる。

【委員】

総合戦略の全般的な感想として、もう少し石巻の色が出ると良いのではないか。ニュースで見たが、若年層、それも50歳代も含めた層で年金未払い率が高い。石巻でも同じではないか。

石巻の良さを、今住んでいる人は感じているが、Uターン・Iターンなどを受け入れる色をもう少し強く入れなければならないのではないか。総合戦略に記載されている事業は、ここ数年で本当に実現可能なことなのか。総合戦略により具体的な石巻の活動が加えられると良いのではないか。例えば、田代島は猫島と言われる程、猫の数が人口より多く、猫好きな人をターゲットにチャンスとして売り出していくこともできる。

【会長】

全国の市町村から出てくる総合戦略の内容の7、8割はどこも共通の内容だと思うが、

残りの2、3割で独自の内容が出せるかどうかが大事だ。計画期間内でどれだけ実行できるのか、独自性を生み出せるのか、どんどん改訂版に取り込むと良い。

**【委員】**

53ページの赤字の「先進的技術を活用した新産業の創出」について、具体的にどのようなイメージで示しているのか。

**【副市長】**

日本製紙の岩国工場では、セルロースナノファイバーという軽量で弾性率の高い素材を開発している。これを石巻にある日本製紙の工場でも開発してもらうなど、新たな産業として雇用を生んでいければと考えている。

**【会長】**

プロジェクションマッピングの企業が、震災後に石巻に立地しており、子ども達にプログラミングの授業などをしてもらっている。石巻でこのような活動があることを、われわれが知らせていくことも必要だろう。

**【復興政策部長】**

石巻市は田代島や網地島など特色ある島があり、観光交流人口の増加を目指すため、今年度島民の方々と話す機会を再開した。観光事業を強化していくことに賛成の方も反対の方もいる。他市のまちづくり NPO と話すこともあり、行政が参画しない方がうまくいくこともある。行政も参画することと、参画せずに進めることのどちらも取り組んでいければよいと考えている。

**【委員】**

今、上がっている事業を全て行うとした場合、いくらかかるのか。石巻市に財源があるのか気になっている。

**【事務局】**

総合戦略の取り組みは、総合計画の策定において、総合計画期間の具体的な事業となる実施計画に位置付け、実施に向けては、国からも補助が1億5千万円程度出るものと想定している。

**【委員】**

実施計画の期間は3年で、総合戦略の期間は5年で異なっている。5年間で総合戦略の事業を一気に行うわけではないのか。

**【事務局】**

来年度から進める事業もあれば、来年度に予算を要求して事業化に進められるか判断する取り組みもある。

**【副市長】**

事業の実施に向けては、事業費をそれぞれ精査するとともに、財源収入とも比較勘案して、収入で充当するのか、借金で行うのかなど判断して選択している。そのため、全て一斉にできるものではなく、優先順位をつけながら、事業費の付いたものから5年間で徐々に進めていくことになる。

**【委員】**

優先順位があるならば、示してほしい。個人的な意見としては、生産人口の増加のための事業を優先的に取り組んでほしい。

**【会長】**

総合戦略に示す事業は、取り組むという意思表示ということで理解いただければよいと思う。

**【委員】**

人口減少に対して危機感が足りないと感じてしまう。具体案がないのに発言するのは申し訳ないが、今、子どもを産みたいと考えている女性が、今産めるようにすることが大事だと、母親達と接していて感じる。即効性のある取り組みがほしい。切れ目のない支援は前から言われていることだし、他に即効性のある取り組みはないのだろうか。

**【委員】**

石巻市の現実を踏まえて具体案がないかと考えていた。69ページにサイエンスラボ事業とあるが、先ほどの日本製紙の新素材開発は、以前、開催されたバイオメディカル学会の市民シンポジウムでの市長のメインテーマであり、どのように活用できるかまで具体的な話をしていた。

そのようなシンポジウムに多くの市民・団体が参加してくれることで、市民の中に連携が生まれ、具体的な事業の実現化が進むのではないかと。市民に広く総合戦略の方向性などを伝える啓蒙活動が必要だろう。

**【教育委員会事務局長】**

サイエンスラボ事業は、小中学校に巡回して科学教室の実施などを行う取り組みであり、科学に対する興味を深めてもらいたいと考えている。

**【委員】**

学生とともに一般市民も参加できる科学の未来を感じられるサイエンシフィックカフェのようなものを設けて、市民の科学に対する興味を高めていってはどうか。

**【副市長】**

私の夢として、将来、石巻市からノーベル賞を取る人を出したいと思っています。そういう目的をもってサイエンスラボ事業に取り組みたい。

**【会長】**

大変夢のある話でぜひ積極的にそのような夢を語っていただきたい。サイエンスラボ事業などの活動を積み上げ、PRしていけば、面白い若者が石巻市に来ることにつながるのではないかと。

**【委員】**

今日は前回の意見書に対する報告がないのか。また、事業一つずつは新規のものか、既存のものかがよく分からない。各担当課でそれぞれ事業を行っていくのでは今までと変わらないと思う。コアになる事業とそれ以外の事業が不明確なために市民に分かりにくく、分かりにくいために総合戦略は行政だけが行うものと見えてしまう。また、この総合戦略を見ても子供を産もうという気持ちにはならないのではないかと。

**【事務局】**

各事業については、各担当課と調整して、総合戦略に載せられる事業を記載している。その結果を一覧で示したものを後ほど提供させていただきたい。

**【会長】**

各担当課との調整内容の一覧に、総合戦略に載せられない理由も記載してほしい。

**【事務局】**

事業については既に進めているものも総合戦略にあり、委員の皆さんは任期が5年であり、今後も引き続き、目標達成のための分析や途中経過の報告等を継続的に行い、その都度ご意見をいただき、総合戦略を改定していきたいと考えている。

**【委員】**

計画をどのように市民に浸透させるのかを、委員は言いたかったのではないかと考えてみると、現時点の総合戦略はアピールが足りない。総合戦略のタイトルを、「石巻力アッププロジェクト」など誰でもわかる言葉にして、各基本的視点を「しごと力アップ」「まち力アップ」「人間力アップ」などキーワードを使って人に伝わる提案をしていくべきではないか。

**【委員】**

財源の話もあったが、行政が手を出すのは初動だけで、最終的にはマーケットベースに落とし込んで地域で事業をまわすという考えで行わなければならないのではないかと。市の職員の手もいっぱいであり、もっと市民に頼っていいのではないかと。民間事業の仕組みづくりをしていくのがこの会議の役割でもあるのではないかと。

**【会長】**

この戦略は、行政として事業を精査しなくてはならないから、このような書き方にならざるをえない。確かに一般市民から見ると少しわかりにくく、この文章から景色は見えずらいかもしれない。木村委員の言うような、わかりやすく、夢ややる気を感じられるようなダイジェスト版が必要だろう。しかし、市民である我々も新聞などから情報を得るなど、もう少し勉強をしないといけない。

**【委員】**

ものう夢ネットワークが、先日配布した広報誌はすごく見やすいものだった。町民にアンケートを取り、今後の事業計画として3つ挙げていたが、「恋活」など内容がつかみやすい表現をしていた。簡単な文章だと、自分でも協力できると思えた。

**【委員】**

内海橋や生鮮マーケットなどの進捗はどうなったのかという話をよく聞く。どんな事業が進んでいるのか見えづらいのが現状である。当初は気にするが時間が経つにつれて忘れ去られてしまう。忘れ去られないように事業の進捗をしっかりと示しながら、復興に尽力していければと考える。

**【事務局】**

市報では毎月、紙面でも年数回、市のHPでは半期ごとに整備事業スケジュールなど報告している。

**【副市長】**

新聞報道などで、決定していないものが情報として出て行ったりしてしまうものもある。順を追った説明や手続きを経ないで、情報だけ出てしまうと、議会や県等関係機関との兼ね合いにも問題が生じることもあり、ご理解をいただきたい。

【会長】

今後出すことのできる範囲で情報はすぐ示して行ってほしい。

【委員】

今回の戦略についても、なかなか市民に情報が伝わっていないと感じている。わかりやすく広報できないものだろうか。市民の声をもっと拾い上げるような仕組みもあると良い。行政の発信力が弱いと感じる。

【事務局】

今後、パブリックコメントを実施する中で意見を募っていくとともに、ダイジェスト版の提供も考えたい。

【会長】

すべては難しいが、諸団体との意見交換も5年間でやっていってもよいのではないか。

【復興政策部長】

ご指摘通り、総合戦略は市民に浸透しなければならない。佐藤委員も、今までと同じ事業のやり方では意味がないとおっしゃっていたが、事業の上に“存続するまち”、人口減少対策という目標があることを意識して、市民と共有していけるようにしていきたい。

【委員】

現在、創業支援グランプリを行っているが、例えばまちづくりグランプリなどを行い、今後のアイデアを募ると良いのでは、という意見を市民から頂いたのでお伝えしたい。

【会長】

行政だけでなく民間でも行うことができる取り組みではないか。

【委員】

各地区で柱として取り組めることがあると良いのではないか。雄勝地区では、月1回、話し合いをし、まちづくり委員会に意見をあげている。戦略のすべてが全地区で行えるとも思えないので、各地区の独自性が出せると良い。

#### 4 その他

婚活プロジェクトとして、12月12日に無料のセミナーと1月に1泊2日の婚活イベントを行うので、委員の皆様にお知らせするとともに広報の協力をお願いしたい。

#### 5 閉会挨拶

【会長】

やり続けることがすごく大切で、その中で改善を積み重ねていけば良い。官民共同の取り組みとして、行政の方にはアウトソーシングや連携など民間を使い倒す気概で進めていただき、一方、民間もまちを知ろうといった気持ちで進めていきましょう。

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員出欠名簿

(平成27年9月30日現在)

No.	氏名	所属	備考
1	あい たい まさし 曾 田 正	七十七銀行石巻支店	出 (代理:長谷川様)
2	あ ずみ えい いち 安 住 栄 一	牡鹿地区住民代表	出
3	あ べ きよこ 阿 部 紀代子	コンパクトシティいしのまき・街なか 創生協議会	出
4	あ べ みやこ 阿 部 都	いしのまき農業協同組合	出
5	あら き ひろ み 荒 木 裕 美	特定非営利活動法人ベビースマイル石 巻	出
6	おお なみ しげる 大 浪 茂	河北地区住民代表	出
7	き むら みほこ 木 村 美保子	いしのまきNPOセンター	出
8	ご とう むね のり 後 藤 宗 徳	石巻観光協会	出
9	さい じょう たく や 西 條 拓 也	いしのまき農業協同組合	欠
10	さ とう せい こ 佐 藤 清 子	河南地区住民代表	欠
11	さ とう なお み 佐 藤 尚 美	北上地区住民代表	出
12	しな の こういちろう 品 野 光一郎	宮城県漁業協同組合	欠
13	しょう じ ま き 庄 子 真 岐	石巻専修大学	欠
14	だい こく まさ ひろ 大 黒 雅 弘	日本労働組合総連合会宮城県連合会石 巻地域協議会	欠
15	たか はし ま ゆ み 高 橋 真由美	雄勝地区住民代表	出
16	なか がわ なお のり 中 川 尚 仙	石巻商工会議所	出
17	なが さわ さだ よ 永 澤 貞 代	桃生地区住民代表	出
18	は が のぶ ゆき 芳 賀 信 幸	石巻市地域包括ケア推進協議会	出
19	み うら と き え 三 浦 トキエ	石巻市地域婦人団体連絡協議会	出

(氏名の五十音順、敬称略)